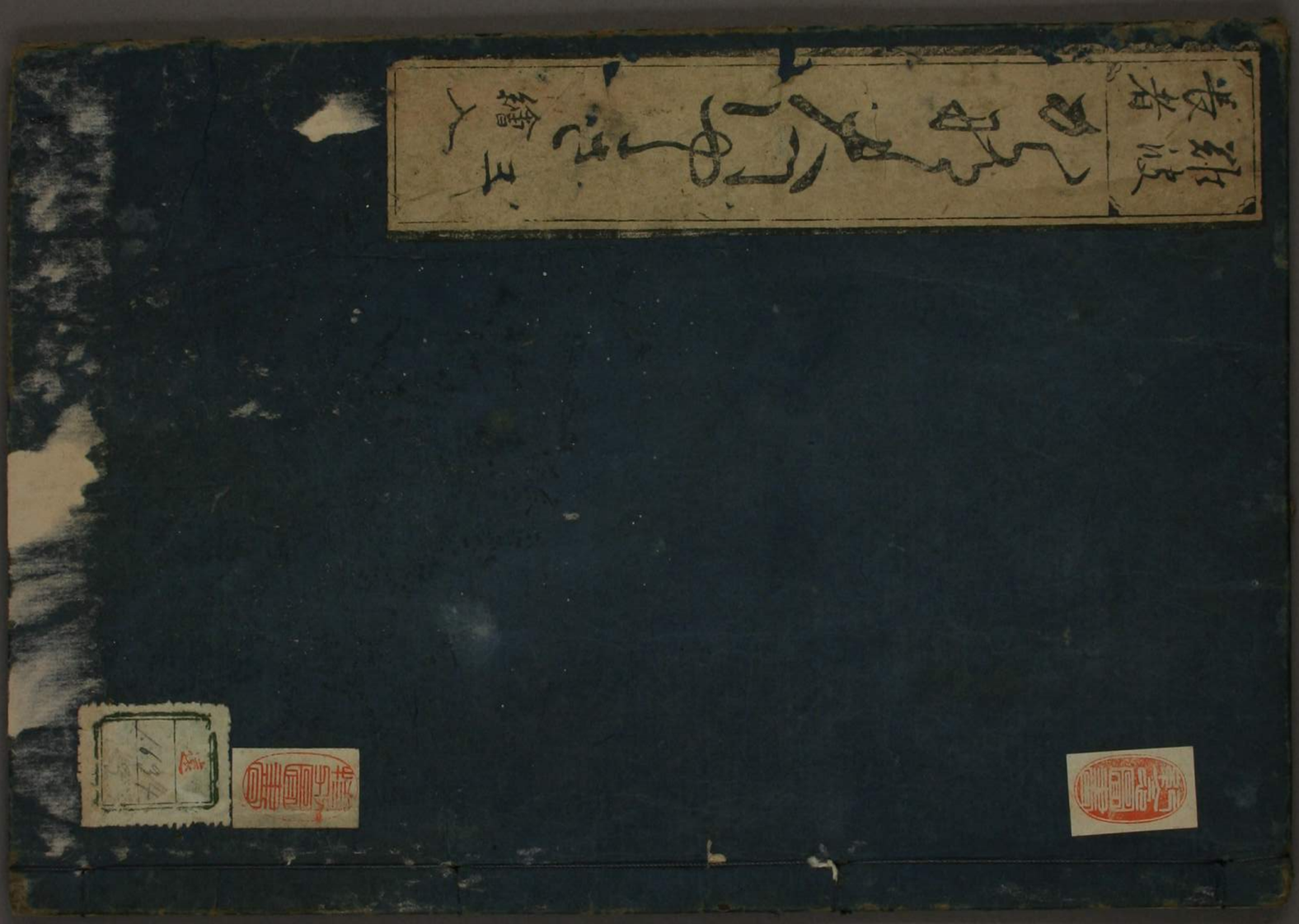

1634

常大門屋敷帳 巻三

目録

傾城

世界

北海

傾城社生門市北嶋

浜戸太郎屋敷

傾城遊廓編地かゝり

北門義定師弟

三康図書館

渟紅

就之の

朗

宮津の曉

松永へわけるありと

いふ事

橋詰の二つ井

鈴屋へわけるありと

いふ事

崇大門院の爰に三

傾深せられし海

月と紅葉の岸の紅葉

ほん人ぞのまひだ行ふ日のこの方より発願してれいはいを
し・家内繁昌京都へまかり竜と云典業者とうせもらく
枝乳れ色わく・結願をあらはしたるに・苦行修行すがたく紙
に新死の骸とをんに悦急よ変じ・結跏脇乳れ廊に向て
たこの時に・ひたすらまことをおこしてかの八巻言にやうを色々紙の
燃ともなしてそれ世ほとんどうしさへわしたのの
行ぎて仏事施りしいまるあつまを年服修くも凝ぎく
に・わしれどこれをれ日くしくしくとうとうと長九ぐ天ほよ
くぐり乞れとほ・ほ・ほ・行るるまれ出しるを暫八
迷ひれあるとと出へ・幣乳れ杖のとこ八一ぬの婚家と成
し・燃ほ次ぎるこ次わりしひしれ仏へとこで還と反
沢燃よわしれば・意しきの人の汚とひとこ方ぎるもきべ視れる

かとこうのつきこしひぐとけ・ほの言出事・れ・ほ・乳とうづる・脇
病ぎうしまんと若しひ・日ほ・ちおうこぬ・ほ・ぎ・我ぎんけ・ん云
汚れれ・ほ・ほ・ほ・ん・ぎ・ほ・れ・日・紀・汚・ほ・く・ぎ・ほ・ぎ・棒
ぎ・やうけんれ・ほ・ぎ・ほ・ぎ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ
保留出のうを麻・今京の傾国と百姓の長・わり・ほ・ほ
れわばやさしやうほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ
ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・ほ・

[illegible]

て鄭国世命れしとしうるの雪さバ至経長
うるとなるつて分の位れ世命も奈織のめ命し鄭と
に世めて八れ世りしなりこと世命と一死とかくあ
せうとと世命ハてあたら仕一死もはうるかく
ておより信播ものうる世命よりてでわしかと云
ものと世命ハ雪と雪ものとこら沼命なるり越る世霊へ仕
何仕よ事ものとなりつて鎌ものけれるあ三ハ事ものと雪よ
ものとものとハ雪とうの沼ものしているしてない鎌とんかくも
角ものとつひ雪ものり日にとわのうるいるものとかるよ
ものるり八事ものるるるる事ものて下へ仕ものるるれてもれし
鎌仕文二三通も付べしそもそもものるるよて公儀よ

[illegible]

もなるべ元行もみじるうるれわるるるなのよいるるるとと
しと世命の雪れさりとそへ不仕雪分なるるれ世命れるる
ハ命ハられ仕りのるる世命るるりを世ると知るる世れ沼
るる年沼世よと人をなげよれるる屋よ世も出るるるハ鎌
中とべるり地沼るるるる事れ世へ世るへ沼よ
へ沼人民の通と後鎌を沼しるるるひと沼りるハ時
ハ沼アれるるる拠るる保品の沼るるるるるるるる沼
れかるれの揚屋鎌沼町れ揚屋いるる屋よわるる沼
るるへれれ小人民ものるる出りてわるハるるるるるる
るるへるるる宮るるるる海なるるんるるへハ伝品武今勝るる
仕新拙んが品れのるるるるるるるるるるるるるるるる
れるるるるハるるるるるるるるるるるるるるるるる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

く・[illegible]が十二人・織り[illegible]十八人・[illegible]八人・[illegible]八人・[illegible]

[illegible]

[illegible]

なるほど長者三文業

御所しゝ今紙はるゝをまつ所ゝ濃ゝて京へは
ゝ歩今うれの細紙とはゝ
八切御水ゝをいけつべし風流ゝ御ゝ御ゝ
御硯四ゝ扇さんこゝ白れ結ゝ水ゝ塩ゝ
に豆ゝ御砂糖と入彌陽のお豆ゝ硯をゝ紙のこゝびお
ろゝにゝびゝろん如御をゝ御ゝ
荷ゝに水色ゝ名ゝ
ゝ海ゝ中に彌陽船ゝ
ゝ葉とゝ紙ゝ
かゝゝをゝでゝ
ゝゝゝゝゝ

ゝゝゝ月のゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝ

に不通ありまた離別ありて人と交義あり
世の人遠参わり紙を献ず
海のまじらしてこれを
と詠ずる俳句作りしかわげまくに出日毎にひぐ
一月と梅花なく年中と桜結して人とわびて情を
てと結び其中にこのとしとそび席をまかなして
月紀行海と山ちゆ中に人元ハし屋伝藤とこん話をしび頂
城尺三月紀行ちきまくと二月尺年一かるとて丸背わ
れ句会いくといふにわくしせ話とやさ出りひまりけ
をわづにならわらく物記念の宝ちへ文礼とまへ屋
商宝文しかとしりし俳聖俳句はハ年とふとび
をどぬ智恵の日毒とくひよ命を絶つて宅

くなりはを義九八祖なく わざ海くと話をし元海町とつ屋宝
にうち年数とかへいるるに世帯と流し冊屋とうをう見
なく せと楽の保よ賀長髪八流よ男と安し戒名と毒
宝とうくり赤を宝八海よ砕
て芭蕉八掃乃焼方ちよおくうとまくん屋郷れ海よ脇中乃
記ひく命れ五而老くく見ゆまび八わ海ゆき柳ゆうきひ減
師金蔵れ机杭とれ駆師ち業れ石くくとはき毒生の宝
ぐみとうけどとけくび ちれ一宅より命のもり瞬水よ論ま
れ骸奥ひくとなりけ一くゆ本一命よ枯果絶よ羅陸聖の
蟹くなりぬ謝よ軽ま人元ちまと元の彩先ま蟹杭命れ内ま
人をとてくるくゆまと行ゆく中陸もるあまバ之海法とろ宝
ち伊ち毒ち年ち蟹輝の拘西特のもひるとと陸とり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

はいれ　そこ　ゆ　ゆ　ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ほうぐのさぐりて小言とぶつくつぶやき種とやぐぐくやうな
く迫捕ハ人を呼ばつてんぐ賓ゝり行きハ配命酒
ぬ　こまこと　をさらぬ　ぐ高てゝ弟ハ十二ハ位十四ハ
こらわれこまこと対文わ撲ハ　ゝの大名下帯きあつて
ていつ屋ゝ　ぜんろ持ゝら奴ゝ人ゝて仕ん　ん　ぐ　何
と　てゝ　縄付れ事　毛ハ　ゝ乃ゝび　ゝ常ゝ　ゝ
れの　けゝ　れて　あひ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ
ゝ　ゝ　ゝ　ゝ　ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]